

《令和6年度 東京家政大学・入間市共催》

保育者研修会

「往還的に学ぶ保育の理論と実践」

申込締切
11/16
(土)

日時：平成6年11月30日(土) 10:00～15:40

会場：東京家政大学狭山校舎 2号館1階 子ども芸術実習室

概要

保育の理論と実践を往還させながら学びを深めていくと、日常の仕事に面白さを感じて意欲も湧いてくると思います。本研修では、それぞれのテーマのもとで参加者と講師との相互作用により、実際の保育場面の中に含まれている大切な意味などを言語化していき、保育のさらなる奥深さ・やりがいなどを味わっていただきたいと思います。ぜひ、本研修にご参加いただき、学びの成果を明日からの保育にも役立てていただければと願っています。

講師

【主任講師】和田明人（子ども支援学部教授）

- 1時限 小櫃智子（子ども支援学部教授）
- 2時限 岩立京子（子ども支援学部教授）
- 3時限 野口隆子（子ども支援学部教授）

対象

入間市内勤務の保育者（新任から15年未満の幼稚園教諭・保育士・保育教諭）

持ち物

筆記用具、最近読み聞かせをした絵本1冊、昼食

受講料

無料

定員

36名

1時限

10:00～
11:30

小櫃智子（子ども支援学部教授）

自分の保育を振り返る ～保育の質を高めるために～

保育の質を高める振り返りの実際について講義します。また、日々の保育の振り返りについて、受講生同士が学び合うグループワークを行います。



昼休み：11:30～12:30

2時限

12:30～
14:00

岩立京子（子ども支援学部教授）

子どもが園で育つということ

－主体性や非認知能力を育む保育実践－

子どもの主体性や非認知能力はどのように育まれるのか。環境構成や援助等、具体的な保育実践の事例を通して学びます。



休憩：14:00～14:10

3時限

14:10～
15:40

野口隆子（子ども支援学部教授）

子どもの想像力を育てる～絵本、紙芝居、素和の魅力～

乳幼児期から児童期の言葉との関係性、保育の環境構成や保育者の関わり、小学校との「架け橋期」などについて、諸理論や実践事例をもとに講義を行います。



お問い合わせ：入間市子ども支援部保育幼稚園課 04-2964-1111（内線2334）
東京家政大学地域連携推進センター 04-2955-6959